

飼料穀物価格の高騰に対応するために・・・

今年に入って飼料価格高騰 !!

輸入価格 (CIF: 運賃、保険料込み)				トウモロコシ		大麦		小麦		大豆油かす		
年度・月				円/トン	前年比 (%)	円/トン	前年比 (%)	円/トン	前年比 (%)	円/トン	前年比 (%)	
2020	年	4	23,853	98.3	24,583	82.0	26,036	91.8	46,214	98.1		
		5	22,861	96.3	25,755	87.0	26,443	88.9	46,098	98.2		
		6	21,375	91.9	26,119	91.8	27,070	94.1	44,559	99.2		
		7	20,473	87.7	24,265	86.0	26,304	98.2	43,456	96.5		
		8	19,955	82.8	23,315	85.5	25,608	97.9	41,208	90.6		
		9	19,665	83.3	23,487	90.4	25,291	102.0	43,112	90.6		
		10	19,830	83.9	23,319	94.1	24,950	103.0	42,709	92.9		
		11	20,774	89.4	23,690	94.6	25,057	98.4	47,469	107.3		
		12	22,466	98.3	23,298	94.4	26,056	102.1	48,187	109.1		
		2021	年	1	24,595	105.9	22,964	92.4	24,663	97.2	51,029	114.7
				2	26,602	114.0	22,665	93.5	27,305	111.2	53,581	116.9
				3	29,236	124.6	24,483	100.1	31,436	128.9	56,925	130.1
4	32,714			137.1	26,222	106.7	31,583	121.3	62,005	134.2		
年度平均			32,714	137.1	26,222	106.7	31,583	121.3	62,005	134.2		

資料：財務省「貿易統計」 注：直近月は速報値

◆ 飼料穀物は、中国のアフリカ豚熱による豚の飼養頭数の減少が回復に転じていることなどを背景に、とうもろこしの国際価格が高騰しています。また、大豆油かすの国際価格も同様な状況にあり、配合飼料価格が大きく上昇し、令和2年度第4四半期には、配合飼料価格安定制度による通常補填が発動しています。

経営への影響を緩和するために・・・

- ・ 給餌は、朝晩の涼しい時間帯に1日数回に少量ずつ分けて給餌し、飼料の食べこぼしが減るよう努める。
- ・ 乳用牛は、良質な粗飼料の給与により、飼料穀物の給餌量を低減させる。
- ・ 肉用牛は、個体毎の増体の状況に応じて、肥育期間の短縮に努める。
- ・ 雌畜の適切な繁殖管理を徹底し、分娩間隔の適正化に努める。
- ・ 乳房炎等の疾病予防や死亡率低減等を図り生産性の向上に努める。
- ・ 比較的安価な食品残さ等を活用したエコフィードを利用する。その際、飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律(昭和28年4月11日法律第35号)等関連法規に適合していることを確認する。
- ・ 取引先飼料メーカーとの話し合いにより、とうもろこしと比べて価格面でメリットのある原料(最近の飼料用麦、飼料用米等)の比率を高めた配合飼料を利用する。
- ・ 飼料の適切な保管に努め、損耗を防止する。
- ・ フィーダーの破損等がないかこまめに確認するなど、設備の管理を徹底する。